

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ—390—

2019.12.24

◎お知らせ — 2020 年度の予定、お知らせします。

露木宏

皆様、元気でお過ごしのことと思います。

ご心配おかけしましたが、私の体調は、まあまあというところです。

来年以降のハンドリングゼミは「戦後～昭和中期頃の装身具」がテーマで、前半に1回、後半に1回予定しています。

前半には「作家の装身具」として著名作家のオリジナルジュエリーの数々を手にとってご覧いただきます。

後半は戦後占領期頃の装身具として

その第1回目は外国人用装身具を取り上げます。

日程等調整して1月末に連絡させていただきます。

その他、文化史研究会関係では次の3つのことを進めていますので、お知らせしておきます。

(1) 伝統装身具ネット図鑑

ライフワークとして取り組んでいる「伝統装身具ネット図鑑」ですが、ほぼ毎週少しずつアップしています。

前よりはだいぶ整備されてきたと思いますのでご覧ください。

来年は日本に並行して海外の未収分も少しずつアップしていきたいと思っています。

(2) 装身具工芸ギャラリー

のびのびになっていた装身具工芸ギャラリーが、来年2月にはプレオープンできるようになりました(学院2Fに設置)。

準備ができましたら、まず会員の皆様にお知らせいたします。

(3) 東京美術「よくわかるシリーズ」から本を出します(来年末を予定)。

東京美術から初心者～中級者対象のビジュアル本を出す予定で、すでに一部は書き進めています。

時代は昭和初期までとなっています。

何人かの方には、ご協力願うことがあるかもしれませんが、その時にはこちらから個別連絡させていただきますので、よろしく申し上げます。

年内の私からのお知らせはこれが最後となります。
皆様、よいお年をお迎えください。
今年はいろいろありがとうございました。
それではまた。

ジュエリー文化史研究会
<http://www.j-bunka.jp/>